

縣市協調未来創造検討会議  
「第1回青少年センター部会」議事概要

<開催要領>

- 1 日 時 令和2年11月12日(木) 15:30~17:00
- 2 場 所 徳島グランヴィリオホテル
- 3 出席委員 田村部会長、田口副部会長  
岸田委員、木下委員、児嶋委員、坂口委員、鈴江委員  
富永委員、長瀬委員、原田委員、御手洗委員、峯委員

<会議次第>

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 部会長挨拶
  - (2) 県民アンケート「青少年センター関係」の回答状況(途中経過)について
  - (3) 縣市協調青少年センター機能移転方針(仮称)・骨子(案)について  
・青少年センターの機能移転について
  - (4) その他
- 3 閉会

<配付資料>

資料 次第

- 資料1 県民アンケート「青少年センター関係」の回答状況(途中経過)について  
資料2 縣市協調青少年センター機能移転方針(仮称)・骨子(案)  
資料3 青少年センターの機能移転について  
資料4 新たな青少年センターのゾーニングイメージ  
参考資料 第1回縣市協調未来創造検討会議の概要

## <議事概要>

(事務局)

議事(1)、(2)について、資料1～4を説明

(部会長)

現在の青少年センターの移転にあたって様々な制約があるように思う。基本的な考え方は現在の施設が移転して縮小したのではない。利用する人にとって駅前は便利なところなので、利用率だけ見ても体育施設は何とか例えば屋上を使って整備できないかが焦点になると思う。今の話にあったようにアミコビルの1フロアに体育館以外のスペースがとれる。制約があるということだが、初めての部会なので、アンケートの結果も見ながら、忌憚のないご意見をいただきたい。今回、それから次回、2回予定されている4ページの4。青少年センターの施設整備に伴うような話をしていただき、施設運営のあり方を運営方法の整備スケジュールを協議いただきたい。今日はこの施設整備に関する基本的な考え方や近隣施設との連携を中心に話していただければ。

(A委員)

今青少年センターを中心に活動している14団体が所属しており、代表して参加している。本日色々ご説明いただき、ある程度理解が深まった。そこで聞きたいが今、1フロアである程度集約するという話を伺ったが、何らかの建物の改修が発生すると思うが、その改修している期間に活動ができない期間が生じないかというところが一番心配。ここまでセンターが利用でき、ここからは新しいセンターを利用する、その間にブランクの期間が生じないようなスケジュールにさせていただけるのかというのが心配ごと。体育施設が空間的に厳しいということは理解しているが、やはり自転車で利用する人が多く、たとえば市立図書館であれば駐輪のチケットを配ったりしているが、ああいった配慮があるかなどが意見として出ている。今の施設の移転に伴うスケジュールの説明の中で、ブランクが本当はないのかというところは心配。

人口的に見ても青少年は減っているし、高齢者は増えているので、幅広い年代の方が利用されるのは当然だと思うが、青少年が自由に気軽に日常的に使える場所が必ず必要。ホールはそれこそランドマーク、シンボルとしてやるのはいい。青少年センターは青少年の日常に近いものであるべき。

(事務局)

ブランクがないようにということについては、できるだけ新たなところを整備した後に移転し、ブランクがないようにしたい。駐輪場は協議して、有料のものについては、協議させていただきたいと思う。

(B委員)

駐輪場ですけど、例えば、そごうの利用者だとスタンプの仕組みがあるので、何らか

の対応が可能かと思っている。

(C委員)

今回の青少年センターは、青少年の居場所ということを大事にしていきたいと思っている。小学生は放課後児童クラブも充実してきていて、習い事や塾とかしていなくても行く場所がかなり整ってきている。中高生で部活もしていない生徒達が、気軽に集まって何かを発信しているような場所が必要になると思うし、他県の例を見ると先進的な例もあるようなので、フリースペースとか自習のスペースをあまり目的を絞り込まず、気軽に集まれるような空間を作り、高校生達が合流できるような場所にして欲しいと思う。今の青少年センターでは会議室が空いているときに自習室スペースとして開放しているが、どのくらいの利用率か。

また、アンケートにeスポーツの項目があって、eスポーツをしているということがわかった。全国でもeスポーツで地域おこしをするという流れになっているが、徳島はマチアソビで成功しているので、eスポーツという流れもいいかと思うが、ゲーム依存とかも懸念される。小学生や中学生があまり分別のつかない時に、ゲームに浸ってしまうというのはどうかというのが率直な意見としてある。もしeスポーツを推進するのであれば、具体的にどのような形でしていこうとされているのかお聞かせいただきたい。

(事務局)

自習室だけの利用者数は把握しておらず、会議室を使う利用者数として入っている。

(事務局)

eスポーツの関係について、県民文化課としてもセンターの関係でお答えさせていただく。eスポーツは色々な効果があり健常者、障がい者、性別、年齢関係なく、利用しているメリットがある。スポーツではあるが幅広く楽しめる。こうしたスペースがあり、みんなで楽しめる施設があればいいと思う。依存症などの課題はあるので、そうした活動を盛り上げるようなスペースになればいいかと思う。

(C委員)

今の学生をみているとパソコンを持っていない人もいる。自習室が可能であれば、チームラボという素晴らしい先駆者もいるので、そういうのに気軽に触れられるスペースがあればいいと思う。

(部会長)

大会議室200席の確保は難しいんですね、シビックセンターには120人規模が入るスペースがありますね。会議室1、2、4、5は小規模の会議室となっている。フリースペース、自由に使えるスペースはとれるのか。

(事務局)

今は予約がなく空いている会議室を自習室に使ってもらっている。その点については、アミコに移っても、そういう形で運営したい。

(部会長)

会議室はどれくらいはとれるのか。

(事務局)

1、2、4、5会議室を合わせた広さはとれる。

(D委員)

ボランティアの地域活動を通じて、日々市内の高校生や大学生とよく関わっており、年間1000人くらいと会う。この会の委員に選ばれてから、青少年センターについて話をその世代の人に聞いた。今日のアンケートでは15～29歳が19%だった。この世代の総意ではないだろうとされていて、僕自身100人は聞いたかったが聞けなかった。

センターの使い方は大きく2つに別れており、一つはスポーツの何部だから目的と合致、それより多い一般ユーザー、いわゆる普通の高校生がどう使うかについては、自習室のニーズがすごく高かった。じゃあ箱があったら、空いてたら使えるよというシステムと思うが、高校生からすると、不満はすごく多く、すぐ埋まるという話を聞いている。日曜の朝9時にセンターが開くが、埋まっているパターンが多い。背景には駅前には高校、大学生が勉強するために溜まるスペースがない。青少年センターは貴重な場なので、ぎゅっと集まりパンクする。部屋が2、3つあれば高校生のニーズを補完できるわけではなく、ガバナンスなどを煮詰めないと、同じ問題が駅前に移っても起こるので、きちんと議論するポイントではないかと思う。自習室のニーズが高い、高いけど不満があるよということ。

(部会長)

まずはスペースが一番だろうと思うが、確保した上で、運営の話にもなると思う。

(E委員)

ゾーニングを拝見したとき、第一印象として、今の運営内容を網羅できるのか、物理的に無理なんだろうなというのが一目瞭然。まずは大きな人数を受け入れる場所がない、市立体育館、小体育館にリンクさせなければと思う。アミコビルの空きスペースを利用して運用する案だが、広さからすると非常に厳しい。それぞれがレクリエーション、会議などをするとき、パーティーをどうするのか、音や振動が非常に影響を受けると思う。振動や声は気になる。

阿波銀行の本店営業部で7、8と県予選を行った。基本的には見ていただくギャラリーではなく、オンライン。C委員がいう中学生などの子どもへの影響、他県では一つの問

題としてとりあげられている。香川では条例として。よく言っているがeスポーツは伸びしろがあり、日本が海外に向けて輸出できるコンテンツになりうる。サブカルチャーとして潰してしまうのは惜しい。アニメは今、大きな産業の一つ。eスポーツも可能性がある。中学3年生の息子に聞くとスポーツ、勉強、eスポーツと彼らには棲み分けができています。度合いは個人差があるが。ゾーニングの中で、eスポーツをどこでやるのか、レクリエーションか会議室かということになると、ある程度インフラの設備を整えないと、ここをメイン会場にするのではなく、サテライトにしてメイン会場は別にあるということになると思う。しっかり作らなければ、納税者の一人として言うのもったいない。別にここに持ってくる必要もない。東新町でもeスポーツやバーチャルができないか、徳島の大きなコンテンツになる可能性がある分野だと思う。子どもたちは家庭内のしつけの中で止めていただく、まず青少年センターの名目で運営されるのなら一線引いて、あくまで大会を運営する場所だと。子どもたちに促す場所でないとも文化していただきたい。またパーティーがないと、互いに迷惑がかかる。

(部会長)

確かにそごうのワンフロアに全て入りきるのか、おっしゃったとおりの騒音なり何なり、仕分けはどうするのかというのは素朴な疑問。本当にワンフロアしか使えないのか。

(事務局)

ワンフロアをイメージしているが、あくまでもゾーニングイメージ。

(C委員)

eスポーツをする時にどんな設備が必要になるか。

(E委員)

eスポーツは基本的に家でできる。ちょっとした予選をしたりするのに大きな規模はいらない。ただ、地域にお金落ちる仕組みを考えれば、大きな会場は必要。国内の大会は総額億単位の賞金があったり、海外だと一桁二桁上がった大会がある。それがモチベーションになる。

設備として、どれ位の広さが必要かという点、青少年センターの小会議室、狭い部屋があれば、対応できる、これがeスポーツの魅力の一つ。テレビで見ると大きなスクリーンにギャラリーがいる、あれは日本でいうと、セガやコナミなどが冠をつけて大会をしているもの。特にeスポーツを介して自社のイメージアップや商品売るためのツールとして大会とコラボすることとなる。アスティの中は理想的。大小関係なく。

(C委員)

青少年が集まるような目玉を作っていくのであれば、eスポーツはひとつの可能性になると思う。一方で、教育的な配慮と平行させながらやっていくことが必要。

(E委員)

eスポーツも大学に進むときの評価点になれば、お母さんたちが後押ししてくれると思うが、今はそうではない。

(F委員)

前回会議で、知事から冒頭の挨拶で鬼滅の刃やeスポーツの話があった。青少年センターの機能の移転と中心市街地の活性化やにぎわいの創出ということを書いているが、県として方針をはっきりと打ち出していただきたい。地元で育てていただいた中、お役に立てることがあれば協力したい。アンケートなどで意見を聞くことも大事だが、絶対に動かさない柱、青少年センターの機能を継承できるところはやっていく。その上で、新しいにぎわいの創出にあたり機能をプラスしていく。やはりどうなるか分からない仮定の話はしにくい。eスポーツやアニメを移転の中に組み込むのならばはっきりした方針を出していただきたい。

私は10年間マチアソビをしてきて、100万人を超えるお客さんが来て、県外6割、県内4割という割合になっており、県下にお金を落としていただき、徳島の経済効果にも少しは貢献できたと思っている。10年の積み重ねのコンテンツもあるので、お手伝いができるならば頑張りたい。はっきりした2本柱でいくんだと、決めたらゾーニングのイメージも具体的になる。

(事務局)

方針にも出しているが、今までの機能移転や中心市街地の活性化をしなければいけない状況で、若い人が町中に集まる状況を作り出す仕組みがある。新たなニーズということでeスポーツ、アニメがでてくる。そのことについても是非、青少年センターという名前だが、新たなところで色々なニーズに応えられるような施設にしたい。

(事務局)

F委員が言われたように本来この場に厚めの資料があれば理想だが、何分、アニメやeスポーツなど、先進例がないこともある。アンケートなども含め、次回は厚めの方針を作りたい。

(G委員)

そもそも青少年センターを移転する際、青少年センターの機能を移転するフィールドとしてどのくらいのキャパが明確になっていないのが、議論が進みにくいところ。1フロアだけなのか、屋上や他フロア利用の検討もできるのか、というところが見えてこない議論が進みにくい。

もう一点は、この利用者のデータを拝見したときにインドア運動場、体育室、青少年センターの体育系のところが、稼働率が高い。年間インドア運動場は2万人、体育室1万7、8千の利用がある。周りの施設との連携が必要という議論があるが、周りの施設も通常、利用されていると思うので、周辺施設の稼働率、利用ニーズが分からないと、今見る年間3万7、8千人の運動している人を受け入れられるか分からない。もし周辺

施設の体育館が90%の稼働率であれば、もしかしたらそれは難しいかもしれないとなるので、データを付けていただきたい。受け入れが難しいとなれば、移転先のフィールドでどうしていくかという議論をしないといけない。

(部会長)

この会自体、こういうセンターを作って欲しい、今までの青少年センターにeスポーツなりアニメなり加えて、駅前のにぎわい創出を担うということであれば、これだけでいいのかという素朴なイメージがある。体育館は近くの市立体育館に行けばいいということでもいいのかなと見た時に思った。それだけ利用者がいた。今度は体育館の代替を考えたとき、果たして市立体育館でいけるのか。仮に連携したときに、市立体育館での受け入れが難しい場合の運営を考えておかないと、青少年や県民は困るのではないかと素朴に思う。

(H委員)

都市計画、まちづくりの立場で発言する。新しい施設がセンターに入るのは行政の意思が出るころ。傍から見ると、インドア派の宣言に見える。稼働率、稼働時間が被る可能性がある。利用時間の重複を見ておかないと大きな問題になる。きちんとそこを整理しないと。ゾーニングイメージは理念が必要。何故ここに配置するのか、プランニングの意思が必要。実際整備する時にどうするか、行政の意思として、アミコビルのテナントが相当抜けており、そこに丁度良かったからセンターを入れるという意思なのか、あるいは中高生が集まるいい場所として駅前を考えるのか、ゾーニングも出して、アミコビルのどこに入れるのかも、積極的な意味を持っていかないと。行政の意思がでる。隙間に入れるスタンスなのか、ここに入れて他の人達と交渉していく、ということなのかをきちんとしなければ。

自習室の問題は大きく、当初は青少年に限らずとあったが、やはり青少年を中核にしなければならない。アンケートは青少年が少ない。青少年を大事にする自治体なのか、大事にしない自治体なのか、やはり青少年をという強い意志を持たなければ、どう豊かな場所を作りどう実現するのか、ゾーニングの意味が隙間を埋めましたというのは本末転倒。会議室が空いているから自習室にする、では高校生は路頭に迷う。高校生の実態に合わせて必要な機能をきちんと。自習機能は追い出されているわけだから、これを受け止めるのが青少年センターなんじゃないかと。高校生などのライフスタイル等に寄り添わなければ。

物理的な空間のことを言うと、作り込みすぎると自由度がなくなるし、埋めてしまうことに特化するのではなく、ブランクヤードを作り時代の変化に対応する余剰空間も残しておく。コンセプト作りから丁寧しないと、新ホールから追い出されたので、空いてる場所という感じになると、青少年を大事にする自治体としてどうかという気がする。なので、根本的な議論を組み上げ直さないといけない。

(A委員)

私は最初に言葉を選んでいましたが、他の委員さんの話を聞いて勇気付けられた。先ほど申し上げたが、人口でいうと青少年は少ないので、意見を募れば当然少数派になる。青少年は未来そのものなので、青少年センターは青少年にどれだけインセンティブを与えられるかを大事に考えて欲しい。にぎわいやまちづくりも大事だと思うが、にぎわいまちづくりイコールイベントではない。365日わいわいがやがやではない。日常に人がそこに居られるということが大事。平日、市立図書館に行くことがあるが、子どもやお母さんがたくさん来ている。わいわいがやがやしているわけではないが、それが日常のにぎわいと思っている。まちづくりは派手な何かではなく、そういうところ。青少年が普段そこにいられることを第一に考えて欲しい。

もう一つ、徳島の悪いところは徳島駅から阿波踊り会館まで遠いという人がいたが、大阪とか東京に行けば地下鉄だけで徳島駅前くらいあるからそれくらい歩く。私は青团連の会長だが、所属は県青年海外派遣の会。海外の方を徳島に呼んで研修したり、ホームステイしたりという活動をしているが、たとえば駅前の東急インとかに泊まっていたいて、会議の場所は青少年センターとしたとき、歩いて行くので不満はない。それくらい移動するよね、と言う感じ。私は市立体育館と連携すればいいと思うし、一体的に使っていいと思う。遠いことは決してないと思っている。eスポーツやアニメもいいものだと思うので、青少年センターの中で触れるきっかけになるような仕掛けを作るとはいいと思うが、センターの機能としてそれを付加するののかということ、ちょっとどうかと思う。今でも水際公園とかアーケードとか、いくらでも使えると思う。そういうところで拠点として情報発信基地という形で青少年センターに何かを置くというのはあると思うが、実際は広い空間が東新町にいくらでもあるのでそうすればいいと思う。青少年センターの機能として付加するというのは話が違う気がする。

(F委員)

そのとおりと思う。一緒くたに絶対する必要はないと思うが、青少年センターの機能は機能として、きちんとしたものを確立する、これは間違いないこと。子どもは国の宝。ただ、そごうが閉店し、駅前が静かになってきている中、県が駅前を何とかしたいということで、eスポーツにしてもアニメにしても声がかかった。

本当に2フロアくらい確保し、1フロアは青少年センターの今までの機能を残し、もう一つのフロアでeスポーツやアニメを。空気感も違うし。そうした形でeスポーツやアニメが徳島の活性化の役に立てるならうれしく思う。その辺は線引きが必要だと感じた。

(C委員)

自習室について付け加えると、今の青少年センターでは黙々と受験勉強、宿題をしていると思うが、今はアクティブラーニングなので、そういうイメージではなく3、4人入れる個別スペースがあり、パソコン、ホワイトボードがあり、中高生、大学生が課題をわいわい情報を集めながら勉強する自習室と、塾に行かなくても静かに勉強ができる自習室とがあればいいと思っていた。ちょっと時間があるのでカラオケ、遊びに行こう

かではなく、隙間時間で勉強しようかという空間があればいいと思う。空いている会議室があるから勉強していいよという自習室ではなく、今の時代の学習を支援するような自習室があればいいと思う。

(I 委員)

私が青少年センターを利用していたのは中学生で地下のプールを使ったとき。最近子どもが体育館を利用したり、部活で学校の体育館が使えないので使ったり。多分社会人のチームが体育館を使って練習したりすることも多いと思う。だいたい徳島市内の公共的な体育館、市立体育館にしても埋まっっていて使えない。子どもにフットサルの大会前に練習させたいと思っても、どこも空いていない。学校も使えない中、代替で示されているが難しいのではないかな。例えば地下のインドア運動場はテニス、フットサルとかに使えるが、アミコの屋上は広く空いていると思うので、そこにフェンスを建ててフットサル場を作るとか、せめて代替案がないとどうか。

(部会長)

機能別で2フロア、目的別で広く取ることができないかという意見が出ているがどうか。

(事務局)

屋上はしっかりと協議したい。それとフロアだが会議室とか、和室が3室あるが、稼働率が少ない。それでこのあたりは他の施設がある。会議室は先ほど会長も言われたようにすぐ同じ建物にシビックセンターがあるし、音楽室もある。その辺を今のまま持つて行くのではなく、取捨選択をする。自習室の話色々いただいたが、ただ単に会議室が空いているから貸すというのではなく、新たに勉強しやすいような場所、創造する場所で検討したい。フロアはあくまでも決まっておらず、1フロアということではない。

(部会長)

新ホールが出来るためにやむを得ずアミコビルに入るというのではなく、新しい時代に青少年に対して徳島県、徳島市は駅前という場所を得て、立派な青少年センターができた、子どもは日々喜んで出入りできる施設になったということにならないと、今のところの縮小スペースに集まったというだけではダメ。新しい機能としてeスポーツ、アニメは関心が高いので、スペースを作ることも大事。二本立てでと言う形はある。スポーツは先生が言われたように市立体育館でやってくださいというのはこれだけ需要があって、ずいぶん縮小されたのかなということになるので、どの程度かわからないが、屋上でフットサルなりできる形に是非していただきたいと思う。

(H委員)

青少年センターの機能が駅前に移ることはいいこと。一般市民の生活は社会で駅がハブになってないが、高校生にはハブになっていて、近隣から通学している学生には立地

上の便がいいものになる。

もともと建築をしていたので、建築的な視点でいうと、建物は閉じた建物のなのでアミコに全部閉じ込めるのが妥当なのかは疑問に思っており、ひょっとしたら、インフォメーションがあってその活動は周辺の商店街にはみ出した方がいい気がする。なので青少年センターの場所としては自習室がはみ出すのは難しいと思うが、そこになければいけないもの、はみ出していいものとなるとeスポーツははみ出してもいい典型的なものであり、アニメの層と重なっており、むしろ街に露出していくところ、閉じるところをメリハリをつけた方がいいと思う。そうすると結果として、にぎわいという人が集う場としての機能は十二分に可能。アミコに移ることは大賛成。

(E委員)

eスポーツ自体は私もあまりしておらず、客観的な意見として、この中にeスポーツの施設そのものを入れ込む必要もないかと思っている。サブカルチャーみたいな部分のはみ出していいかと思っている。東新町がやっているし、ポップ街もその動きは大きい。ちょっと場所を貸してね、くらいだと思う。eスポーツやアニメに少し触れる機会があれば青少年センターの価値が上がるのでは。公共的な場所や収益の話ではないかもしれないが、ある程度独立採算的なイメージを持つべきと思う。東新町は補助金を使って改装中だがそこは収益を上げなければと思っている。eスポーツの会長をしているが、東新町のために盛り上げるコンテンツとして利用する立場なので、青少年の学習の場、コミュニケーションの場を崩すことはないかと思う。

(F委員)

E委員が言われたようにずっとはみ出てきたので、そういうことは全然構わない。ただ、そういう形でサテライト的なものをいければ、また何かそういう形でお返しできるかと。私的には全然困ってもないし、みんな一緒にやっている。ただ、そういう中でお役に立てるようなものがあればというだけ。ずっとボランティアでしているので、地元のホテルとか、飲食グルメ版とも無料でさせていただいているし、徳島のためにスタジオもあるし、シネマもあるし、ユーフォーさんが土地に根を張ってやってくださることのバックアップがあり、アニメやバックアップ、マチアソビをしている県のにぎわいづくり課とともに色々してきたので、建物にどうしても入れて欲しいという気持ちはなく、まず、青少年センターの本当の機能が十分に働くかそれが一番。

(部会長)

アンケートを見ると新しいものをおいて欲しいという要望もたくさんある。青少年育成のためのセンターというのを明確にすることと、これが移転することによって、明確に機能がよくなったなど、そういう形にしなければ。縮小ではだめ。青少年の使い勝手がよく行ったら楽しいという場にしなければ。eスポーツ、アニメも入ったほうがいいと思う。スポーツ、体育系も含めて、県市で考えていただき、ゾーニングはよくわからないので、こういう風にと言う骨格を明確にさせていただき、運営の仕方を次回は議論し

たい。

(G委員)

先ほどスポーツのところで行くと、長崎にできた新しいサッカー場はショッピングモールからのぞけるという感じだった。スポーツをする人たちが、一つの箱の中に入ってその中でやるという視点はこれまでであったと思うが、たとえば都会はショッピングセンターの中にバスケットコートがあって、大会をしたり。どこか一つの箱の中にいれないとスポーツができないという発想とは別で、例えばショッピングをしている人が横でサッカーしている人を見られるというまぜこぜのようなことも、まちづくりの中でやっているところもあると思う。上手く言えないがそういうオープンな発想で、どこかの体育館を使って青少年が体育をしてるというだけでなく、スポーツもしてもらえるが、まちづくりの一つのコンテンツとして使えるという発想があると面白いと思う。